

研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医

新城市民病院で1か月研修をさせていただき、様々な経験をすることができました。初診の外来診療では、日赤での研修よりも高齢者が多いこともあり患者さんに即した医療を心がけていかなければいけないと思いました。今まではあまり聞いていなかった家族構成、介護度や普段のADLを把握することが非常に重要であるということをお教いただきました。また、問診や身体診察の取り方について再度学ぶ良い機会となりました。

入院した際には、医学的な治療だけでなく、患者さんがこれから自宅に帰るのか転院するのか施設に入所するのかなどの選択肢を患者さんだけでなくご家族と相談して決めていくことが大切でした。これらは日赤の研修でも重要なことですが、あまり意識できていなかったのが印象的でした。また週に1度、リハビリやMSWの方などとの合同のカンファレンスがあり、チームとして医療が行われていました。

毎日朝の勉強会や振り返りの時間があり、上級医の先生のアドバイスをいただけるだけでなく自分で問診できていなかったことなどに気づくこともでき非常に有益な時間でした。Uptodate勉強会やEBM勉強会は、とても刺激的で今まで文献を検索したりなどする機会は少なかったのがこれからは行っていこうと思いました。

訪問看護や訪問リハビリでは退院後の患者さんやターミナルの患者さんのお宅を訪問し、どのようなケアをうけ、どのような環境で生活をしているのか実感することができました。こういった経験を生かして、どのように医療を行っていけばよいか考えたいと思いました。また作手診療所や助産所に行く機会もあり、患者さんとのコミュニケーションをとる機会が多く、医師として求められることも知ることができました。

1か月という短い期間でしたが、先生方やコメディカルの方々に大変お世話になりました。気さくにわからないことなどお教いただきました、様々なことを経験することができました。この経験を生かして患者さん第一の医療を行っていききたいと思います。ありがとうございました。